

丸山 景右の
いい家を建てる!
プロが教える雨楽な家づくりの極意



丸山 景右(まゐやま けいすけ)
株式会社 リック 代表取締役

「木造瓦葺の中学校校舎で日本文化を学ぶ」

全国の公立の小中学校で、木造校舎の新築、あるいは、鉄筋コンクリート校舎の内装木質化への改築が進んでいます。インフルエンザによる学級閉鎖の件数が、木造校舎は鉄筋コンクリート校舎の2分の1以下、という興味深いデータも注目されています。学校校舎は子どもたちの大切な学習と生活の場ですので、安全性を最優先するとともに、温もりと潤いのある落ち着いた教育環境を整えることが大切です。

さて、三重県亀山市の「関宿(せきじゆく)」は、東海道五十三次の四十七番目の宿場町。江戸時代から明治にかけて建てられた数多くの町家が今なお残る情緒ある街並みで、重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。その関宿の近くに建つ亀山市立関中学校。関宿の景観にならひ、関中学校では中庭(写真右上)を街道筋に見立て、木造瓦葺二階建ての校舎が街道筋の両側に建てられています。おおよそ中学校とは思えない風情ある景観です。

屋根はすべて耐震性の高い工法で施工された瓦葺きなので安全で安心。軒瓦の巴(ともえ:軒先の瓦の丸い部分)は、生徒たちが揺った型



瓦と金属材を多用した中学校

を使って作製され、新校舎に寄せる想いが「信・友・木・笑」などの漢字一文字で表現されていて印象的です(右下)。

多目的ホールの吹き抜け(左上)には、地元の山から伐り出された、直径約50cm、高さ7~9mの杉の丸太が、原木に近い形で使用されました。梁には国産のカラマツ集成材が使用され、床板、壁面、天井ルーバーなどにも杉材が多用されています。設計は(株)石本建築事務所。ハイサイドから陽光を採りこむことで、明るく伸びやかな大空間が生まれました。自然光と杉材の温もりとやさしさが生徒たちを大きく包み込んでいます。

この木造瓦葺の校舎で日本文化を学び、自ら体感した卒業生たちは、母校に愛着と誇りを持ち、自信を身につけて社会に巣立ってゆくことでしょう。

URAC

vol.21
2018.08



特集
瓦屋根が美しい家

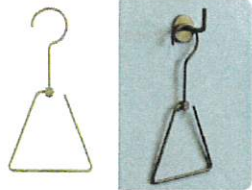
contents

- 今月の「雨楽な家」愛知屋・A様邸
- 丸山景右の「いい家を建てる」vol.21「木造瓦葺の中学校校舎で日本文化を学ぶ」
- Topics Brass Hanger・リサコ カワラカルチャー・icciブランド

雨楽な家

Topics

今月の気になるものをご紹介



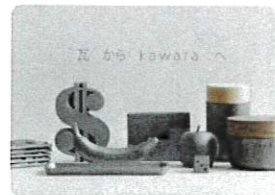
変化を楽しむ「Brass Hanger」

さんかくの形がユニークな真鍮製メイドインジャパンのハンガー。無塗装なので、時を経ると洗みのある色合いに変化してヴィンテージ感が増し、味わい深い姿に。ハンガーの他にも真鍮、鉄やステンレス、銅などの素材の特性を活かしたシンプルなおしゃれなオリジナル製品があります。
販売元: 千葉工作所
公式ホームページ <http://www.chiba-mwd.com>



廃材利用「リサコ カワラカルチャー」

瓦の端材を利用した、環境にやさしい園芸用の土です。瓦を粉砕し、焼かずに安全な方法で粒状にしているため、製造時に二酸化炭素を排出しません。インドアグリーンを水耕栽培で清潔に保ちます。乾くと色が薄くなるので、水やりのタイミングがわかりやすく便利です。
販売元: 三浦園芸
公式ホームページ <http://www.miuraengei.com>



いぶし銀の美しさ「icciブランド」

「瓦」という日本のヒトカケラを屋根の上からテノヒラの上に」をコンセプトに、瓦のいぶし銀を普段の生活に取り入れているicciブランド。代表は瓦葺士の一ノ瀬謙博氏。アメリカのイェール大学の日本建築プロジェクトに日本から唯一人参加したというエピソードは日本人必読。
販売元: icci KAWARA PRODUCTS
公式ホームページ <http://icci-kawaraproducts.com>

発行元

雨楽な家 推進本部 <http://urac.ne.jp>

株式会社 リック 広島本社 〒733-0863 広島市西区草津南3-2-21 RJCビル

中部営業部 〒481-0041 北名古屋市九之坪北南37-1

四国営業部 〒790-0941 愛媛県松山市和泉南1-13-30-14

子育て支援ステーション ニッセ 〒260-0834 千葉県中央区千葉寺町1220-4

瓦屋根が美しい家



シンプルな水平の屋根ラインが青空のキャンパスにモダンアートを描いています。あの白い雲に乗って宇宙の彼方へ跳んでいけそう。瓦屋根とはいえ重厚な鬼瓦もなく棟瓦は薄く全体が軽やかでリスミカル。スタイリッシュな瓦屋根は日本の気候風土に最適な素材です。

和でも洋でもない個性的な外観フォルム

瓦屋根という和のイメージをもつ人がいますが、そうとは限りません。たとえば、オレンジ色やブラウンといった暖色系の素焼きの瓦の切妻屋根に、ホワイトの外壁を組み合わせると、明るい南欧風の外観デザインに。その場合、一色で統一するのも素敵ですが、オレンジとブラウンの瓦をランダムに組み合わせても個性的。温かい外観フォルムの住まいになります。

瓦屋根の家は和でもなく洋でもなく、デザイン性の高い個性的な住まいの代名詞。牧歌的な風景になじむだけでなく、都会的な景観にも似合います。瓦は焼き物ですから、仕上げの方法により、さまざまな色味や質感を出せるメリットも。数寄屋のような日本ならではの伝統的な意匠から、南欧のモダンなデザインまで、幅広い多様性が瓦屋根の魅力です。

抜群の耐久力でほぼメンテナンスフリー

屋根の役割は、雨風をしのぎ、自然災害から家族の命と暮らしを守ること。瓦屋根の最大の魅力は、その耐久性の高さにあります。瓦の原料は良質の粘土。有害な物質を一切含まない自然の素材です。真夏には屋根の表面温度は50℃から70℃に達します。灼熱の太陽、凍てつく寒気、風に舞う砂塵、酸性雨、猛烈な台風、重い積雪などの自然の猛



クローチア・アドプロブニク

威にさらされるながらも、瓦屋根は優れた耐久性を発揮します。雨風に強く、持ちが良く、色あせや経年劣化にも強いので、ほとんどメンテナンスフリーです。

瓦屋根は防音性にも優れ、雨音の吸音率が他の屋根材に比べて高いのも特長の一つ。遮音性が高いので、夜中の大雨でも雨音を気にすることなく静かに休むことができ、赤ちゃんからお年寄りまで、大切な家族の睡眠を守ってくれます。

日本の高温多湿の気候風土に最適

瓦屋根は日本の自然環境によく合います。夏場は強い日射から住まいを守る優れた断熱性能があり、反対に冬場は上空の冷気を遮断して、室内で暖かく過ごせます。

地震列島の日本で気になるのが耐震性。瓦屋根は重いいため地震に弱いのではないかと、という人がいますが、心配には及びません。現在は従来の瓦屋根に比べ、より強固に施工する技術やガイドラインがあり、耐震性や耐風性が一段と高まっています。

いぶし瓦は光の角度で虹色に変化

日本三大瓦といえは、「三州(愛知県西部)」と「淡路(兵庫県淡路島)」と「石州(島根県西部)」で、「三州瓦」を生産する愛知県西三河地方は全国でも最大の瓦生産地。中でも注目されるのは伝統的な「いぶし瓦」。深みのあるいぶし瓦は、光の角度により、灰色、黒、銀色、時には虹色に変化します。優美にして荘厳。繊細にして素朴。端正な瓦屋根は、世界に誇る日本の建築文化の象徴です。瓦屋根の文化を次代につなげたいと願っています。

瓦屋根のおすすめポイント

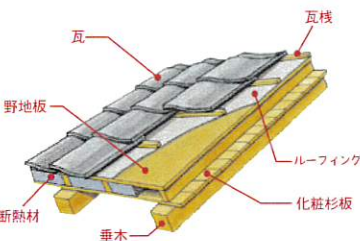
- 1 耐久性、耐水性、耐火性、耐寒性、断熱性などを併せ持つ優れた建築材料
- 2 適度に吸放湿性もあり、高温多湿の日本の気候風土に最適な屋根材
- 3 防音性や吸音率が高いので、雨音が聞こえにくく、静かな居住性を確保
- 4 和でもなく洋でもなく高いデザイン性で個性的な外観スタイルを実現可能



昭和7年大阪船場の町並シオラマ

よくわかる!「雨楽な家」の屋根

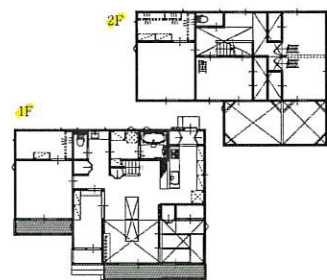
「雨楽な家」は、シンプルな切妻屋根を標準としています。軒とけらばを深く出し陰影のある外観をつくります。瓦は日本の気候に最も適した伝統的な屋根材で「雨楽な家」によく使われるのは「いぶし瓦」です。釉薬を用いない素朴な質感が建物に風格と気品を与え、自然な味わいを長く楽しめま。和洋を問わずシンプルな木の家によく似合います。



瓦ラインナップ	【和型】	【平板型】	【S型】
雨露や日光、熱、風などを遮ることが屋根本来の役割です。しかし現在では、いろいろな機能を併せ持つ屋根が開発されています。地域の環境や建物のデザインに合わせてわが家に最適な屋根を選びましょう。	最もスタンダードな瓦。建物の和洋、用途を問わず多彩なデザインに使われています。	直線的なラインが印象的です。洋風住宅や現代建築など洗練されたデザインに多用されます。	凹凸が大きく表情豊かな屋根となります。和風や南欧風など、様式を問わず個性を多様に表現します。
【いぶし瓦】			
【陶器瓦】	成型乾燥した後表面に釉薬をかけて多彩な色に仕上げます。色艶が良く、変色、退色が少ないのが長所です。和風、洋風を問わず、建物の個性を豊かに彩ります。		
【窯変瓦】	窯の中で酸素を調整し、濃淡、色むらのある瓦を焼き上げます。素朴で深遠な色合いを持つ、表情豊かな瓦です。		

今月の「雨楽な家」 愛知県・A様邸

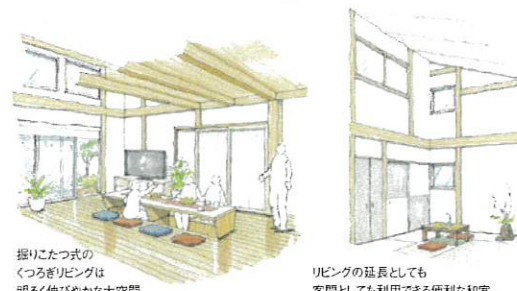
大きな吹抜リビングの掘り座卓をかこんで話の花が咲く家



いぶし瓦の切妻屋根が夏にキラキラ輝いています。森林浴のできるリビングは檜の床、漆塗の壁、杉の勾配天井に包まれたビッグサイズの自然空間です。



ダイナミックに重なる下ろした大屋根が印象的な品格あるシルエット



掘りこたつ式のくつろぎリビングは明るく伸びやかな大空間

リビングの延長としても客間としても利用できる便利な和室